

STEP 2

1年の流れ

1年を通してこんな作物ができます。

ハウス栽培をすることにより、少ない農地で、1年を通じて生産・収穫することが可能です。しかし、一人の労働力では難しいものもあります。

作目、人員などを含めた綿密な計画が必要となります。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハウス1			レタス 収穫 選別 出荷	上旬 レタス片づけ、 ピーマン用耕起、 肥料散布、苗植え							上旬 ピーマン収穫終了 ハウス内片づけ	
ハウス2											中旬 レタス定植に向けた畑準備 (耕起・肥料散布・マルチ敷きなど)	
ハウス3	温度管理・水管理											
ハウス4												下旬 レタス苗植え
ハウス5										上旬 レタス種まき 育苗管理(約40日間)		
水稲			●種もみ準備 (選別・浸漬) ●育苗用土箱詰め (約130箱)	●種まき、育苗管理 ●本田耕起、代掻 ●本田肥料散布	●田植え ●除草剤散布		●追肥			●刈取り ●乾燥調整	●出荷調整	
その他	●売買伝票の 整理	●確定申告準備 ●経営分析& 経営計画作成	●確定申告	●地域一斉水路掃除			●地域一斉草刈				●翌年の資材等注文	

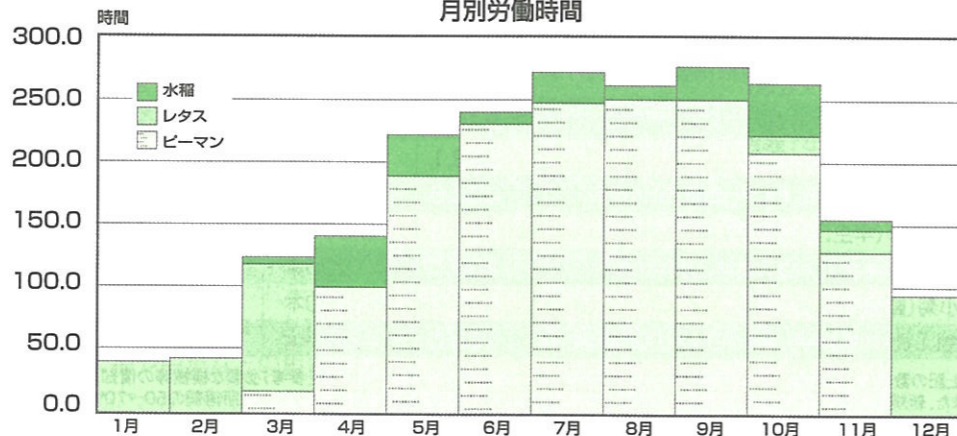
園芸を中心とした作付け例

品目	面積	10a当り収量	kg当り単価	粗収益	費用*	所得	備考
ピーマン(雨よけハウス栽培)	16.5a	6,400kg	255	2,693,000	1,829,000	864,000	収量は県目標の80%とした
レタス(ハウス利用)	13.2a	2,400kg	160	507,000	338,000	169,000	収量は県目標の80%とした
水稲(自家用メイン、品種ひとめぼれ)	50.0a	432kg	261	564,000	319,000	245,000	収量は県目標の80%とした
合計				3,764,000	2,486,000	1,278,000	

上記の数値は、岩手県における収益性のおよその目安です。(生産技術体系2005年版を参考)
 必要な機械等の償却費、借入資金の償還金などは含まれていません。
 ※費用:種苗費、肥料費、農薬費、諸材料費、動力光熱費、流通経費など
 経営面積

- 野菜用ビニールハウス5棟(100坪×5棟=1,650㎡)うち4棟はピーマンとレタスで共有利用
- 水稲育苗用ビニールハウス1棟(30坪)
- 水田50a(50,000㎡)

月別労働時間



ポイント



岩手県では水稲、野菜、花き、畜産など多種多様な農産物を生産することができますが、新たに農業を始める場合、少ない農地でも効率的に生産できる作物を選ぶことが、早期の経営安定に結びつくことが多いようです。特にビニールハウスを利用した施設園芸は、露地の野菜や水稲と異なり、年間を通じた収入を得ることができます。一方で、施設園芸は計画的な生産管理と高度な栽培技術が求められるので、

就農前の十分な研修と綿密な計画作成がポイントとなります。

作物を選ぶ際のポイント

- 利用可能な農地面積で作物を考えましょう。(又は、作物に合わせた農地を確保しましょう。)→少ない農地で水稲を作っても所得は得られません。
- 冬期間の所得確保策を考えましょう。→施設園芸でボイラーを使用すれば周年で所得を確保することができます。難しい場合は、アルバイトなども生きるための手段です。
- 労働力を確保しましょう。→農業は組作業が多いので、一人の労力では何もできないこともあります。単身での就農はお勧めしません。